

# ゆりかご



リニアック室

## 目次

スタッフ紹介(内科・消化器内科・循環器内科)	2
院内研修会・研修報告会	3
トピックス	4~5
●東日本大震災関連の当院での出産について	
●中津市民病院DMAT	
●新人看護師のヒヨコマーク	
各種チームの紹介	5
●NST活動・相談支援センター	
新任医師紹介(新任常勤医師12名)	6~7
新病院建設進捗状況	8



新病院建設安全大会(餅つき)でのコマ

## 内科・消化器内科の紹介です

内科は2名、消化器内科は4名の医師から構成されていますが、全員が九州大学第三内科（病態制御内科）から派遣されており、カンファレンスや抄読会などは共同で行っています。

### 内科

代謝や内分泌疾患を中心に診療しており、糖尿病患者さんを多くあつかっていますが、渡邊は医師会の先生方と協力し高血圧患者の中に潜んでいる「原発性アルドステロン症」の発見にも努めています。感染症、膠原病など幅広い知識を元に、いわゆる「よくわからない病気」も他の診療科からコンサルトを受け謎解きのお手伝いをしています。地域に高齢者が多いことから肺炎や心不全の患者さんも多く、専門以外の疾患も診療する必要があるため、糖尿病専門医を目指している坂井と2人、守備範囲はかなり広くとっています。



### 消化器内科

消化管分野では内視鏡専門医の金山が通常の検査だけでなく食道がん、胃がんのESDやEMR、大腸腫瘍のEMR、ポリープ切除をはじめ、食道静脈瘤のEISやEVLなどの治療もおこなっています。消化管出血による緊急内視鏡と止血術の症例も多く多忙な毎日を送っています。

肝疾患では肝臓専門医の横田と山下がC型肝炎に対するインターフェロン治療の導入、肝臓がんに対するエタノール注入、ラジオ波焼灼、全身化学療法をおこなっており、放射線科の協力のもとで肝動脈塞栓術、リザーバー留置下肝動注化学療法もおこなっています。

胆道系疾患は結石による急性胆管炎や胆嚢炎の症例が多く、九大第三内科腫瘍研究室出身の安田がEASTやセントによる治療を行っています。また、胆道・膵臓がんに関しては切除不能例に対するステント挿入や放射線治療、全身化学療法を行っています。

本年導入されましたリニアクによる放射線治療も放射線科と協力し今後積極的に活用してゆこうと考えています。

以上、地域の患者さんが大分や北九州方面に出かける必要が無いように、積極的治療から緩和治療まで幅広いニーズに応えるべく努力しています。

## 循環器内科の紹介です

当科は久留米大学心臓血管内科より派遣された医師3名で構成されており、日常診療および循環器系（心臓血管）疾患の急患に対する24時間体制での治療を行なっております。

### 冠動脈疾患

心臓は筋肉で出来たポンプであり、全身に血液を循環させる大切な臓器です。心臓も筋肉組織ですから、心臓自体を栄養する血管（冠動脈）が必要です。その冠動脈が動脈硬化や痙攣（痙攣）により狭くなって、心臓が栄養不足になり、心臓が悲鳴をあげる病気を「狭心症」と言います。またその冠動脈が完全に閉塞してしまい、そこから先の心筋が壊死してしまう病気を「心筋梗塞」と言います。どちらも命に関わる重篤な病気であり、可能な限り早急な処置が必要です。当科では、これらの病気に緊急で対応すべく、1日24時間、1年365日の体制で働んでいます。



### 洞不全症候群・房室ブロック

心臓は全部で4つの部屋がありますが、それらが運動して動くために、心臓内に電気の流れがあります。これを刺激伝導系と言いますが、この刺激伝導系を世界で最初に発見したのは、中津で幼少期を過ごされた田原淳先生という方です。この刺激伝導系の障害により、脈拍が遅くなってしまい、失神やめまいを生じる病気が洞不全症候群と房室ブロックです。これらの疾患に対して、当科ではペースメーカー植え込み術を行っています。

### 心不全

心不全とは実は病名ではなく、何らかの心臓に疾患のある方が、ポンプとしての心臓機能が保てずに、呼吸困難（夜間に多いです）や激しい動悸として発症する病態の総称です。その心不全に対しても、緊急の処置が必要であり、当科で24時間体制で行なっております。

### 不整脈

脈の乱れをすべて「不整脈」と呼ぶのですが、一言で不整脈と言っても、緊急を要するものから放置可能なものまで、いろいろとあります。どのような状態でも油断は禁物なので、早急な診断と治療が必要です。

### 高血圧症・高脂血症など

他にも心臓病一般、高血圧症、高脂血症などの日常の管理も行なっています。

### その他

当科では心疾患以外にも、「脳梗塞」を始めとした脳卒中の治療や、腎疾患に対する治療（緊急の血液透析も含む）も行なっています。

## 院内研修会・研修報告会

講演内容	期日	講師	
日本人ナース・医療者のための緩和ケア教育プログラム	2月 3日	5F病棟看護師	村井美由紀
平成22年度院内感染対策講習会 平成22年度感染制御専門薬剤師講習会	2月10日	薬剤師	上ノ阪友里
第101回小児外科合同症例検討会 第116回ICD講習会	2月17日	小児外科医師	三好きな
乳房超音波検査を学ぼう! 2010 日本超音波医学会関東甲信越地方会第22回学術集会	2月24日	臨床検査技師	佐々木亜里
第51回日本臨床細胞学会総会		臨床検査技師	橋本幸子
医療安全管理者養成研修 管理者のためのリスクマネジメント	3月 3日	5F病棟看護長	熊智子
平成22年度医師救急医療業務実施修練 大分県医師臨床研修指導医講習会 第72回日本臨床外科学会総会		外科医長	平野誠太郎
第72回日本臨床外科学会総会 第65回日本大腸肛門病学会 第74回大腸癌研究会		外科部長	白水章夫
第117回ICD講習会		小児外科医師	三好きな
第25回日本がん看護学会学術集会		外来看護師	吉田まつみ
第16回日本集団災害医学会	3月17日	4F病棟看護師	橋本裕子
DMAT出動報告 (東北地方太平洋沖地震)		総務課総務係	菅原正樹
		外科医長	迫口太郎
		4F病棟看護師	橋吉賢一
		4F病棟看護師	橋本裕子
		総務課総務係	菅原正樹
第93回日本小児科学会大分地方会例会 産婦人科スプリングフォーラム	4月14日	小児科部長	合志光史
第72回日本臨床外科学会総会 九州大学内視鏡トレーニングセミナー		産婦人科医長	古川雄一
第49回日本臨床細胞学会秋期大会 第10回泌尿器細胞診カンファレンス	4月21日	臨床検査技師長	藤利夫
生活をつなぐ退院支援 -スムーズな地域連携のために-	4月28日	6F病棟看護長	東京子
第464回日本小児科学会福岡地方会例会		小児科医長	寺町昌史
大分県リスクマネジャー交流会 医療メティエーター養成講座		5F病棟看護長	熊智子
平成23年度院内感染対策研修会 「HIV感染についてー日本と大分県の現状を踏まえて」 「最近新たに開始された、3種類のワクチンについて」	5月12日	副院長 小児科部長	横田昌樹
	5月19日		合志光史
	5月26日		



## ●東日本大震災関連の当院での出産について



東日本大震災という未曾有の災害は我が国にまさに戦後最大の国難をもたらしました。犠牲になられた皆様に深い哀悼の意を表します。また、被災された皆様に心よりのお見舞いを申し上げます。日本産科婦人科学会、日本産婦人科医会は災害直後より被災地支援を開始し、人的な援助と同時に分娩に必要な物品の供出を全国から募り、被災地にお届けしました。

今回の災害は東北のみならず日本全土に多大な困難をもたらしています。福島原発の放射能漏れ、関東での電力不足に伴う計画停電、いまだ収束を見ない余震、など関東に遠く在住の皆様には心休まることのない日々が続いています。特に本来であれば心安らかに過ごしているべき妊婦さんには厳しい環境と思います。そんな中、里帰りや知己を頼って分娩する場所を変更する妊婦さんが多くいらっしゃいます。

中津市民病院ではすでに数名の関東圏在住の妊婦さんの分娩をお引き受けしました。また、現在、当院で分娩するために中津市にとどまり健診を受けていらっしゃる方も数名おられます。慌ただしく中津に来られたためか、中にはそれまでかかっていた先生の紹介状をお持ちでない方もいらっしゃいました。分娩予定日までの時間的余裕がない方もいらっしゃいました。難しい合併症をお持ちの方も、帝王切開が1-2週間後に迫っていた方も皆様、無条件に当院でお引き受けしました。

九州にある私たちの病院には東北はやはり遠く、現地の悲惨さは想像の域を越しません。関東の混乱もまた然りです。私たちにはこの場所で私たちができることをしっかりとやることしかできません。日本中、すべての妊婦さんが等しく医療を受けられるように、これからも震災関連で当院を分娩場所選ばれた妊婦さん無条件でお引き受けいたします。

## ●中津市民病院DMAT



DMATとは災害派遣医療チーム（Disaster Medical Assistance Team）の略で、「災害救急期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム」と定義されています。チームは医師、看護師、業務調整員（事務職員など）で構成され、大規模災害の被災地や多数の傷病者が発生した事故現場において、急性期の医療支援を行うことがDMATの目的です。

DMATには大きく分けて2種類あり、大災害（大地震・飛行機事故・列車事故・テロなど）を想定した「日本DMAT（医師や看護師、業務調整員を含む隊員5名で構成）」と、日本DMATの技術を地域に応用した「大分DMAT（医師と看護師を含む2名以上で構成）」が存在します。

私たち中津市民病院DMATは双方での訓練を受け、平成19年度より日本DMATと大分DMATの2種のDMATに登録されています。

大分DMATは平成22年に中津市消防本部からの要請が初の活動となり、それから数件の出動要請を受けることとなりました。出動要請を受けた院内の隊員は至急に出動態勢をとり、以降の消防本部からの指示を待ちます。最初の出動要請は救急隊の現場到着直後に入ります。このため傷病者の状態によっては、出動準備のみで活動が終了することもあります。しかし、要請を受けてから出動態勢を整えることも訓練の一つとして対応しています。今後も中津市消防本部との連携をはかり出動に備えます。

日本DMATについては、あまりに大きな構想の為、装備をどう準備すべきか、何をどのくらい持つべきかなど、迷いながらの手探りで活動が続いていました。そのような中、平成23年3月11日の東日本大震災発生となりました。

当院では地震発生直後よりDMATメンバーを参集し活動を開始、国からの最初の出動要請で東北地方へ向かいました。DMAT本部からの指示に従って3月12日早朝に福岡空港より自衛隊輸送機で他のDMATチームとともに茨城県の自衛隊基地へ向かいました。その後、活動拠点となる宮城県自衛隊陸自基地へ自衛隊ヘリで移送されました。基地は仙台市若林区にあり、最も津波被害が大きかった地域の一つでした。DMAT活動の目的は機能の低下した被災地内での医療負担を軽減し、「避けられた災害死」を一人でも救うことです。しかし、今回の大地震では津波の影響がとて大きく、被害が広範





固に及んでいたため、われわれが活動を開始したときは自衛隊や消防隊の救助活動すらままならない状況が続いていました。基地内に設置された救護所には、近隣から多くの負傷者が搬送されることが予測されましたが、実際には少数の負傷者を受け入れるのみでした。結果、「もう少し何かできるのではないか」という気持ちのまま、現地からの撤退を余儀なくされました。しかし、今回の経験を経て多くの事を感じました。この事を次につなげて行く事こそが、今私たちに与えられた使命と思い今後も努力を続けて行きます。



## 新人看護職員です。

胸に「ひよこマーク」がついています



若葉・新芽を意味します。

- \* 若葉マーク(初心者マーク)をモチーフに、新卒者の意味を有します。
- \* 新人さんを見守るみんなのあたたかい心のハートを意味します。

“新人さん・ひよっこ”の意味を有します。  
2本の足は、**少しずつでも一歩一歩自分で踏み出せるように…**という願いがこもっています。

今年度から、「新人看護職員研修」を企画しています。研修の内容などについては、これから少しずつご紹介いたします。ご期待ください…

## 各種チームの紹介

### NST (Nutrition Support Team) 活動の紹介

NSTは1970年米国のシカゴで誕生、専門的な栄養管理チームの必要性を唱えたのがはじまりです。

栄養管理はすべての治療法の基盤です。栄養状態が不良であれば、いかなる治療も奏功しないと考えられています。当院では2003年8月にNSTを立ち上げました。「すべての壁を越えた医療人によるチーム医療」を立ち上げ時からのコンセプトにしています。昨年6月からNST加算を取得しており、現在のところ毎月平均200件程度のNST介入を行っています。医師、薬剤師、看護師、栄養士の4職種が揃って回診することによりNST加算が認められます。今年度のNST委員は総勢30名にもなっています。入院早期より栄養状態を常にアセスメントしながら、患者さんにとって適切な栄養療法は何であるかを探究しています。

毎週月曜日～木曜日まで午後3時より(水曜日は午後4時より)回診を行っていますので周知いただきますようお願いいたします。また、主治医の先生には回診前後に患者さんについての治療方針等をお聞きすることもあるかと思しますので、その際にはご回答の程よろしくお願いいたします。

### 相談支援センターのご案内

中津市民病院は、平成23年4月1日がん診療連携拠点病院に指定されました。それに伴い相談支援センターに社会福祉士・保健師の専門職員を増員し、機能の充実強化を図りました。

#### 【業務内容】

医療機関との連携	他医療機関からご紹介いただく患者さんに「安心」して医療を受けていただけるよう丁寧な対応に心がけています。かかりつけ医からの紹介状を持参される患者さんは診療連携室までお越しください。 ○外来受付時間 8時30分～11時(祝日を除く月～金) ○場所 相談支援センター診療連携室(正面玄関入って右手側)
相談支援	病気にともない、患者さんやご家族にはさまざまな不安や心配事が起こってきます。皆様のお力になれるように、社会福祉士や保健師が対応しますので、入院、通院で困ったこと、心配なことがありましたらお気軽にご相談ください。 ○相談時間 9時～17時(祝日を除く月～金) ○場所 相談支援センター医療相談室(正面玄関入って左手側) ○電話 0979-22-6521(直通)



# 新任医師紹介

～今年度から当院に勤務する医師の紹介をします。～

呼吸器外科

**岡崎 寛士** (おかざき ひろし)  
専門：呼吸器外科



コメント：4月より当院へ赴任いたしました。少年時代に近隣に住んでいたこともあり、赴任が決まった際には懐かしさを覚えました。呼吸器外科医として、肺癌や胸腺腫などの腫瘍性疾患、膿胸や肺膿瘍などの感染性疾患を専門に診療しております。患者さんはもとより、多くの人が笑顔になれるように頑張っていきたいと思っています。どうぞ、よろしくお願ひ致します。

外科

**廣石 和章** (ひろいし かずあき)  
専門：外科一般



コメント：本年4月に大分大学第1外科より赴任して参りました。専門は消化器外科で大学院では外科病理を学びました。明るく元気をモットーに精一杯頑張りたいと思いますのでどうぞよろしくお願ひ致します。

外科

**岡田 敏子** (おかだ さとこ)  
専門：乳腺外科



コメント：乳腺外科を担当しています。中津には昨年と6年前に勤務させていただいたことがあり、今回で3回目になります。出身地は行橋で近くということもあり、親しみを感じております。よろしくお願ひいたします。

消化器内科

**安田 幹彦** (やすだ みきひこ)  
専門：消化器内科一般



コメント：数年ぶりに中津市民病院で勤務することになりました。以前は内科医が少なかったため消化管と胆道、膵臓を診させて頂いていましたが、今回は主に胆道、膵臓専門として診療しております。豊後高田市出身です。宜しくお願ひ致します。

循環器内科

**林 真貴子** (はやし まきこ)  
専門：循環器内科一般



コメント：久留米大学心臓・血管内科から参りました。林真貴子と申します。4月から中津市民病院循環器の医師として働いています。医師として4年目、循環器医師として2年目とまだまだ未熟者の私ですが、一人でも多くの命を救えるよう、笑顔を作れるよう、初心を忘れずに日々の仕事、勉学に励みます。どうぞ、よろしくお願ひ申し上げます。

小児科

**寺町 昌史** (てらまち まさみ)  
専門：小児科一般



コメント：福岡大学より今年の4月に赴任しました小児科の寺町昌史と申します。中津市民病院には非常勤として2008年6月より月に1回ほど外来診療を行いに来ておりました。小児科としては今年10年目になり、小児腎疾患を専門として診療しております。とはいえ日常診療では専門だけでなく(むしろ少ないです…)、地域の中核病院であるため多様な疾患の患者さんがいらつちやいます。現在赴任して2ヶ月と少いですが、その幅広くに驚きつつ日々自己研鑽を積まないといけないなあ、と感じながら診療を行っております。これからよろしくお願ひいたします。



小児科  
**太原 鉄平** (たはら てつぺい)  
専門：小児科一般

コメント：4月に赴任してきました。鹿児島県出身で、色々な所を廻ってきましたが、大分県は初めてです。耶馬溪の美しさに感動しています。中津市の子供たちのお役に立てるよう、精一杯働かせていただく所存です。ですので宜しくお願いします。



小児科  
**児玉 隆志** (こだま たかし)  
専門：小児科一般

コメント：8年ぶりに中津に帰ってきました。ベスト電器、ファミリーマート、スシロー…以前はなかった建物が周囲にできて、外来患者数も以前より増えており、中津の“発展”を感じています。(閉院してしまった病院もありますが…) 新しい病院のためにも、自分ができることをしっかりとこなしていきたいです。



小児科  
**小野澤 佳織** (おのざわ かおり)  
専門：小児科一般

コメント：初めまして。4月から赴任して参りました小野澤 佳織と申します。“いつも笑顔”を心がけて診療していきたいと思えます。病院を受診される多くの病める子どもたちに元気を与えられるようがんばろうと思えますのでよろしくお願い致します。



小児科  
**後藤 綾子** (ごとう あやこ)  
専門：小児科一般

コメント：福岡大学小児科から参りました後藤綾子です。子供に癒されたいために小児科に入り、現在小児科医2年生です。中津市民病院の小児科に赴任されたことのある先輩方は、非常に経験豊富で頼りになるので、私もここでいろんな子供や家族と出会って成長させていただきたいと思えます。未熟者ですが、どうぞよろしくお願い致します。



放射線科  
**森田 孝一郎** (もりた こういちろう)  
専門：放射線科一般

コメント：4月より九州大学より赴任しました。医師としては4年目になります。日高先生の下、画像診断、血管造影など勉強させていただいている毎日です。まだまだ若輩者ではありますが、1日でも早く、皆様の方になれるようがんばります。よろしくお願ひします。



放射線科  
**野元 麻子** (ののもと あさこ)  
専門：放射線科一般

コメント：4月に赴任しました野元です。放射線診断一般を担当しております。日常診療や直当などご迷惑をおかけする点もあるかと思いますが、地域の先生方と共に良い医療を提供していける一助となれば幸いです。どうぞよろしくお願い致します。



# 新病院建設進捗状況

## 建設スケジュール



※ 進捗状況は、完成まで毎回掲載します。



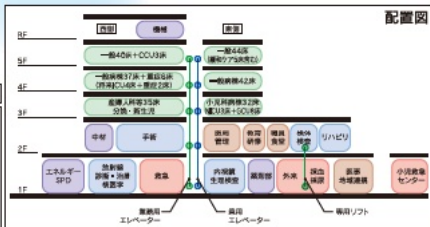
工事現場の全景（屋上より）

## 概要

- 構造等** 構造：鉄筋コンクリート造（免震構造 - 一部耐震構造）
- 高さ：20.7m
- 階数：地上5階・塔屋1階
- 規模** 敷地面積：27,150㎡（第2駐車場除く）
- 延床面積：17,974㎡
- 病床数：250床



凡例	
<span style="background-color: #d9ead3; border: 1px solid #ccc; border-radius: 50%; padding: 2px;"></span>	供給
<span style="background-color: #f4cccc; border: 1px solid #ccc; border-radius: 50%; padding: 2px;"></span>	管理・厚生
<span style="background-color: #d9ead3; border: 1px solid #ccc; border-radius: 50%; padding: 2px;"></span>	病棟
<span style="background-color: #d9ead3; border: 1px solid #ccc; border-radius: 50%; padding: 2px;"></span>	診療
<span style="background-color: #f4cccc; border: 1px solid #ccc; border-radius: 50%; padding: 2px;"></span>	外来



■1階総合ロビー・医事課付近内部工事



■公務員宿舎（医師官舎）工事

発行／中津市立中津市民病院 編集／広報委員会  
 TEL：0979-22-2480【代表】 FAX：0979-24-3839【代表】